

生分解性シート敷設手順

防草・緑化

防草効果を最大限に発揮しつつ、植栽した植物が良好な生育をするには敷き方も重要です。



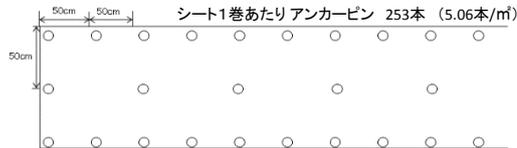
① 草刈・整地

雑草を刈り払い、浮き石などを取り除き平らにしてください。
状況に応じて、雑木の繁茂している所は根を取り除き平らに整形してください。
※雑木等の切り株が地上部より出ていると、防草シート敷設時に防草シートの上に乗った際、突き破る恐れがあります。



② 止めピン位置マーキング

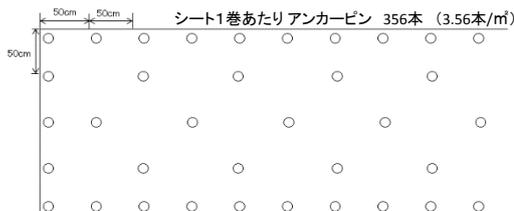
1.0m幅シートの場合



巻尺などを用い打設標準パターン(左図)を参考に、防草シートの周りや重ね部は50cm間隔、内側は100cm間隔でマーキングしてください。



2.0m幅シートの場合



③ シート設置・止めピン打設



1. 風向きを考慮して、シート重ねの上下を決定してください。
2. 重ね部分は10cm以上設けてください。端部にU字溝やコンクリートブロックなどの構造物がある場合にも10cmの重ねを設けてください。
3. 止めピンを打設してください。現場状況に応じて止めピンの設計変更願います。



④ 完成

止めピンの打設ミスが無い確認し、問題が無ければ完成です。

敷設後の注意点

シートの強度が低く、踏圧による破損の恐れがあるため、歩行は要注意。

ピン部補強を行う場合(オプション)



1. 粘着テープは□5cm×10cmにカットしてご使用ください。
2. 砂埃をはらい、マーキングした上から貼り付けて下さい。
3. 特に四スミから剥がれやすいため、しっかり押し付けてください。
※施工面が濡れていると接着不良の原因になります。
4. 止めピンを打設してください。現場状況に応じて止めピンの設計変更願います。